

## すみだの街を今年アートで世界に挑むポップアーティスト『ハタヤママサオ』さんの作品です！ すみ jazz Tシャツで埋め尽くせ！



2019年に初めてお客さんとしてすみジャズを見た際「このイベントで僕のデザインしたTシャツを着てみんなが楽しんでる光景をぜひ見てみたい」と思ったのがきっかけで2020年のTシャツデザインを引き受けました。が、まさかのコロナでオンラインのみ、持ち越しで2021年リデザインして望みましたがそれも中止。ということで実は今回三度目の登場となりました。(なので幻の2020年モデルのTシャツ持ってる方はレアですww)  
今回は完全にハタヤママサオ色を全面に出そうと僕の作品で人気のあるベアシリーズの限定ジャズバージョンを描き下ろし。イベントはもろもろ普段でも着れるようなお洒落でかわいくてキャッチーなデザインにしました。

ハタヤママサオ 日本 / 大阪生まれ  
「POPで世界をHAPPYにする」をコンセプトに溢れる発想と独創的な色彩感覚で日本人独自のポップアートを確立。  
"絵を描く楽しさ"をそのまま表現することで見た人が純粋に希望や勇気をもてる作品を数多く発表。原画コレクターにUSJ(ユニバーサルスタジオジャパン)CEOなど名だたる著名なファンが名を連ねる。  
2021年自身が構える大阪心斎橋のギャラリーショップのビルを全面ペイント "HOPETREE (希望の樹)" として完成、自身初の自叙伝「ポップアートで世界をHAPPYにする男」を出版しメディアにも大きく取り扱われる。  
WEB <https://www.hatayamapopworks.com/> Instagram <https://www.instagram.com/hatayamamasao/>



\*画像はイメージです。\*販売数には限りがあります。無くなり次第販売終了となりますので、ご了承ください。

## すみ jazz Tシャツを身に着け、あなたもすみ jazz を支える一人に！

すべてボランティアで賄っている私たちすみ jazz は、フェスには欠かせない「Tシャツ」を、**地元のTシャツメーカー 久米繊維さんと一緒に公式グッズ**にしています。折角買って頂くのだからこだわり抜いたものにしたい。だからすみ jazz T は素材もデザインも毎年とてもこだわって、**普段でも着たくなるTシャツを目指して**作っています。Tシャツの利益はすみ jazz の運営費となります。このTシャツを購入頂くことは、**全会場無料のすみ jazz を応援頂くこと**になるのです。この街にもっと音楽がなり響いてほしい、もっと沢山の人の笑顔が溢れてほしい、老若男女問わずもっともっと沢山の人の楽しんでほしい。だからこそ、すみ jazz は**全会場無料**としています。少しでもすみ jazz を好きでいてくれるあなた、**一緒にTシャツを着て楽しむことで、すみ jazz をもっと盛り上げてください！**

## イベント前よりきれいなすみだに！

分別にご協力をお願いします！



すみ jazz は、エコ活動にも力を入れています。ゴミを出さない！ゴミを捨てない！  
【イベント前よりきれいなすみだに！】が合言葉。持ち帰れないゴミは、錦糸公園内のエコブース内でお預かりします。きちんと分別すると、ご褒美があるかも！

### 喫煙について

すみ jazz 区錦糸町駅、両国駅、とうきょうスカイツリー駅付近の路上喫煙は、墨田区路上喫煙等禁止条例により禁止されています。喫煙は所定の場所にてお願いいたします。

エコ活動の一環として、天ぷら油(食用油)も回収しています。ご家庭で使用された油、期限の切れてしまった油があれば、きちんとフタの閉まる容器に入れて錦糸公園エコブースへお持ちください！

## すみ jazz の SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS SDGs な取り組み

すみ jazz ストリートジャズ・フェスティバル実行委員会(以下、すみ jazz)は下記の10箇条について、

### 10 箇条

- すみ jazz は墨田区の地域活性化(街興し)に貢献する
- 音楽は街に調和したものとす
- 運営はボランティアスタッフによる
- ボランティアは年齢、性別、国、宗教、障害などを問わない
- ボランティア、演奏者、観客全ての健康に配慮する: 攻めの救護
- 使用した場所は使用前よりも綺麗に
- 音楽を通じて子供も参加出来るイベントとする
- 会場での視聴は無料とする
- クリーンエネルギーの導入: 太陽光発電の利用
- 反社会的団体と手を組まない



すみ jazz はこれからもSDGsを意識して活動を行っていきます！



“JAPAN MADE”  
日本でこそ作り得るもの



KUME.JP  
TOKYO1935